

若者定住促進



深田 真史
(新政会)

問 加西市が行っている婚活支援事業の現状、今後の展開は。

答 婚活支援は市が総力を挙げて取り組むべき総合的施策だと考えています。地域振興部では、今年1月から婚活サポーターを雇用し、現在はブライダルプランナーの資格を取得する中で、今後その能力を発揮してもらいます。

また、市内企業と意見交換する中で、従業員の未婚率は非常に高いとの話がありました。企業の社員間交流によって、出会いの機会をつくることを重点にしながら、婚活支援を行っていき、若者の定

住促進につなげる考えです。

北条鉄道

問 平成27年、播州鉄道北条線100周年、北条鉄道30周年を迎える。加西市にとって人を呼び込むチャンスであり、4年後に向けた取り組みについて、現在検討していることは。

また、大正4年に建てられた法華口駅舎、長駅舎、大正6年に建てられた播磨下里駅舎と3つの木造駅舎が現役で活躍しており、歴史的にも価値がある。今後、3つの駅舎を文化財として登録する予定は。

答 100年もの長きにわたって、この鉄道が走り続けてこれたのも、第3セクターに移行後の市からの経営支援についても、市民の理解や協力があつてのことで

す。100周年並びに30周年を機に、記念行事等を通じて、感謝の気持ちを表すとともに、北条鉄道を内外にPRするいい機会でもあります。今後の鉄道経営のためにも有益なことと考えており、ぜひとも検討を進めていきます。

この3駅は築90年を超える木造駅舎で、国の登録基準を満たした文化財として、価値の高い建造物と言えるのではないかと考えます。国の登録有形文化財として申請すれば、認められる可能性は高く、北条鉄道ともしっかり議論しながら、進めていきたいと思ひます。

東日本大震災

問 被災地に派遣された市職員らによる市民向けの報告会や写真展を開催しては。

答 早急に計画して、実施したいと思ひます。

子育てにやさしい環境整備



衣笠 利則
(21 政会)

問 現在、小学3年生までの通院医療費の助成を中学3年生まで引き上げることに、家庭に多くの負担がかからない子育てのしやすい加西市になるよう、医療費の支援を早急に進めていただきたい。

また、すべての小中学校での給食完全実施について、現在の考えは。

答 県が小学校4年生から6年生までの通院費を助成する拡充案にあわせて、加西市としても中学3年生まで通院費の一部助成をしますが、さらに中学3年生まで

の無料化について、市長からできるだけ早い時期に実現したいという意向表明がありましたので、それに沿った形で対応を進めていきたいと考えています。

中学校給食も加西市のPTAの皆さんからの要望等も古い時期にいただいております。ぜひ実現していきたいと思ひています。まず検討すべきことは、加西市だけでたとえ1校でもできないかということで、その場合は、全校で実施するための一歩であることをご理解いただけるようお願いしたいと思ひます。

活力ある地域の創造

問 高齢者が楽しみに、そして健康の源として野菜をつくられている。販売できる場所の設置や、学校給食への利用等、行政と地域

が一体となった高齢者農業の支援は。

答 加西市の野菜の直売所は、愛菜館以外は規模も小さく、ごくわずかで、近隣の自治体、民間の直売所も新設され、直売所間の競争は非常に激化し、運営が今後厳しくなっていくと予想されますが、支援していきたいと考えています。去年まで愛菜館から各学校へ配送費用の補助と、食材の差額補てんという形で置いていた予算が財政上の理由でカットされましたが、地産地消の取り組みは非常に重要ですので、関係機関と協議したいと思ひます。

